

## 1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成 21年 1月 10日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2894900055		
法人名	但南建設株式会社		
事業所名	グループホームたんなん		
所在地	〒669-5143 兵庫県朝来市山東町柿坪1-1 (電話) 079-670-7121		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉市民ネット・川西		
所在地	兵庫県川西市中央町8-8-104		
訪問調査日	2008年12月12日	評価確定日	2009年1月10日

【情報提供票より】(H20年12月1日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成19年 3 月28 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤	14人, 非常勤 0人, 常勤換算 14人

## (2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	2 階建ての	1 階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42000円～48000 円	その他の経費(月額)	円	
敷 金	有 ( 100000 円)		無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,000 円	

## (4) 利用者の概要(12月1日現在)

利用者人数	17 名	男性	3 名	女性	14 名	
要介護1	5	要介護2	3			
要介護3	4	要介護4	1			
要介護5	0	要支援2	4			
年齢	平均	80 歳	最低	78 歳	最高	95 歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	公立朝来梁瀬医療センター
---------	--------------

## 【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

・四季が楽しめる庭があり、近くに畑があって、野菜を作り収穫して食べる楽しみがエネルギーとなっているようだ。職員は「地域に見守られる安心感が持て、職員が利用者に振り回される」と言うような地域密着で、利用者主体のホームを目指している。日常的な外出や、昨年は淡路島へ一泊旅行、職員の結婚式に利用者全員出席等様々な外出支援がなされた。事業所は、家族や運営推進会議に事業報告をし、経営の透明性にも努めている。今後も研修や他のグループホームとの交流を通して、開かれたホームとして、質の向上に努められたい。
--

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4) ・地域密着型サービス理念実践についての指摘があり、地域の行事へ積極的に参加し、グループホームの新聞を発刊して地域へ配布した。運営推進会議でも協力を求め、地域へとけ込むことを主テーマにして取り組んできた。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4) ・現場リーダーと管理者、所長で自己評価し職員に回覧した。自己評価によって行事は利用者の意向に沿って行ってきたことを確認した。運営推進会議でも第三者評価について報告した。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6) ・行政、地域代表、家族、職員で定期的開催している。会議でグループホーム理解を深めるための新聞を作ってはどうかと助言や行政からはグループホームに関する情報、民生委員から行事参加の案内や外出時の手伝い、災害時の協力の申し出、地域住民からの散歩時の声かけ等あり、地域との連携が進んできた。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8) ・グループホーム新聞を家族等に毎月郵送し、利用者の生活ぶりがわかるよう個々のアルバムを作って、家族が訪問時に見てもらっている。介護の仕方等の要望は出るが苦情は出ない。家族会は希望しない人がいるので作っていない。行事で家族が集まる時に家族のみで話し合う時間を作り、苦情や要望が出やすい場を設けることを検討してもらいたい。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3) ・グループホーム新聞の配布や住民も含めた認知症の研修会を行い地域に向けて情報発信している。利用者の地域行事への参加やホームの行事への地域住民の参加もあり、利用者が地域の一員として受け入れられるよう心掛けている。

## 2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・「その人らしさ」「あるがままの自分」で生活してもらうために「地域の中で共に生活していくこと」を地域密着型理念としている。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・グループホーム会議や日常業務で理念の共有を図っている。職員は利用者と一緒に外出する時は地域の人と話して顔なじみになるよう心がけ、利用者に対してはあるがままを受け入れ、その人らしさを大切にして理念に実践に取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・グループホームの新聞を毎月発刊、地域へ配布したり、住民向けの認知症の研修会をする等地域に向け情報発信している。地域の行事への参加やホームの行事への地域住民の参加もあり、地域の一員としての取り組みに努めている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・現場リーダーと管理者、所長で自己評価し、職員に回覧した。評価を通して管理者は地域との関わりの大切さと再確認し、職員は業務の見直しができ刺激となった。運営推進会議で第三者評価について報告した。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>・行政、地域代表、家族、職員で定期的開催している。回を重ねて地域のグループホームへの理解が深まり、民生委員からの災害時の協力や助言、地域住民からの散歩時の声かけ等もある。家族から希望も出され、双方向の意見交換ができています。</p>		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>・市担当者と新ユニット増設時に設計の段階から助言してもらった。隣接の市からの利用者について、両市での話し合いを持つ等の協力が得られている。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>・家族来訪時に利用者の暮らしぶりを報告、健康状態等の急変時は電話連絡をする。グループホーム新聞を毎月発行して、家族等に郵送している。各自のアルバムを作って、居室に置いてあり、生活ぶりが分かるよう配慮されている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・介護の仕方等の要望は出るが、苦情はでない。電話連絡時も意向を聞くよう努めている。家族会は家族の中で希望しない人がいて作っていない。</p>		<p>・行事で家族が集まる時に家族のみで話し合う時間を作り、苦情や要望が出やすい場を設けてはいかがだろうか。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・新ユニット増設時に職員の異動をした。一部職員の入れ替えだったので、利用者への影響はなかった。家族等には行事の折紹介した。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・外部研修は勤務扱いで参加、内部研修は講師を呼んで職員全員参加、内容によっては地域に周知し、民生委員や他施設職員、近所の人も参加する。日常の業務の中で移乗の仕方や、入浴、認知症の対応等管理者が教え、その日の対応について指示している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・新設グループホームとの交流がある。職員も相互訪問して一緒に学んでいる。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・サービス利用前に自宅を訪問し、暮らしぶりを知り、ホームに来てもらって一緒に過ごしてから入居してもらっている。サービス利用当初落ち着かない人には、家族に訪問してもらったり、電話をかけてもらったり、協力を依頼することもある。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	・畑の耕し方や、種をまく時期等教えてもらったり、調理の手伝い、庭の手入れ等日常生活の中で役割を持ってもらっている。自分でできないことを職員が介助するとありがたいと感謝の言葉がある。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>・職員や管理者の問いかけに応じてもらったり、家族からの情報、暮らしの中でふと出てくる言葉から思いや意向の把握に努めている。</p>		
<b>2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>・介護支援専門員がアセスメントし、円グラフに表して、それを基に家族、専門職からの意見も参考にして介護計画を作成している。ケアプランから具体的な個別援助計画を立て、職員で定期的に評価している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>・個別援助計画の評価結果を参考にして、グループホーム会議で個別カンファレンスを行い介護計画の見直しをしている。定期見直しは半年毎に、特変事はその都度見直す。</p>		
<b>3.多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>			

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>			
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>			
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>			
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>			

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>			
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>			
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>			
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>			
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>			

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>			
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>			
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>			
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>			

 は、重点項目。